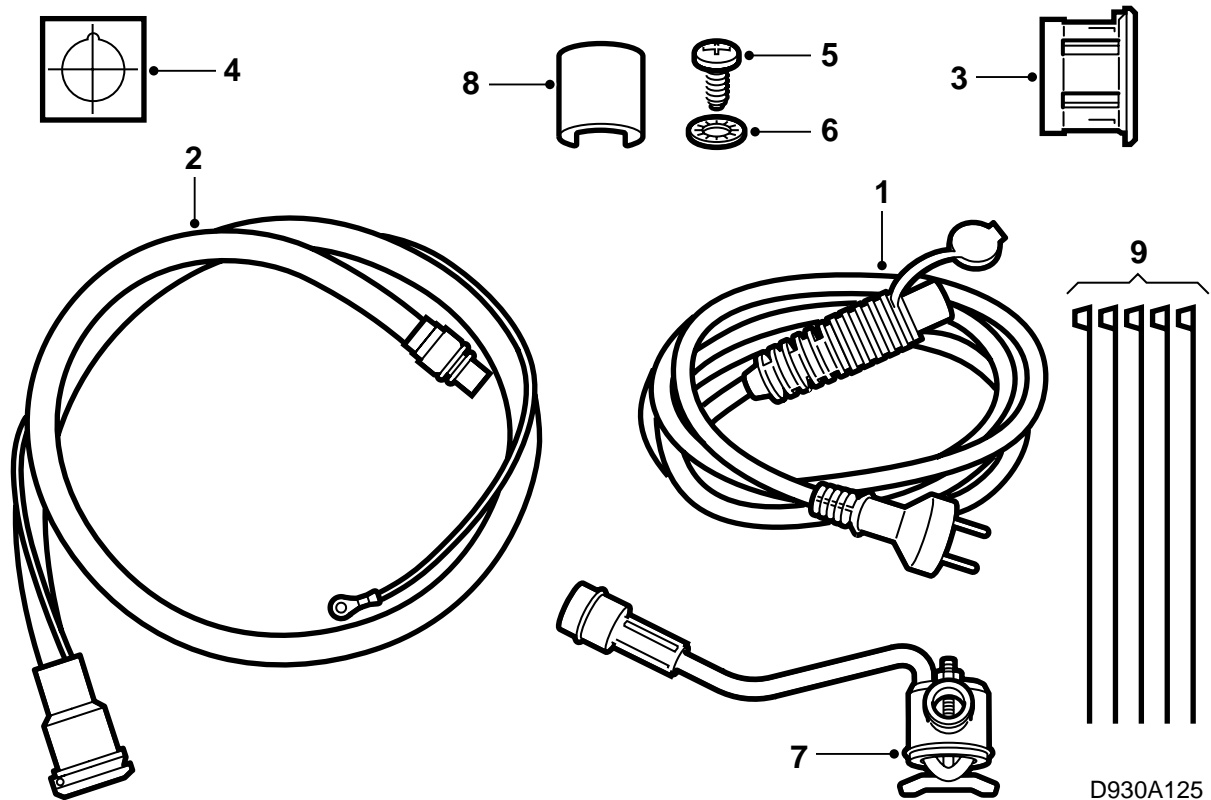


**SAAB****MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

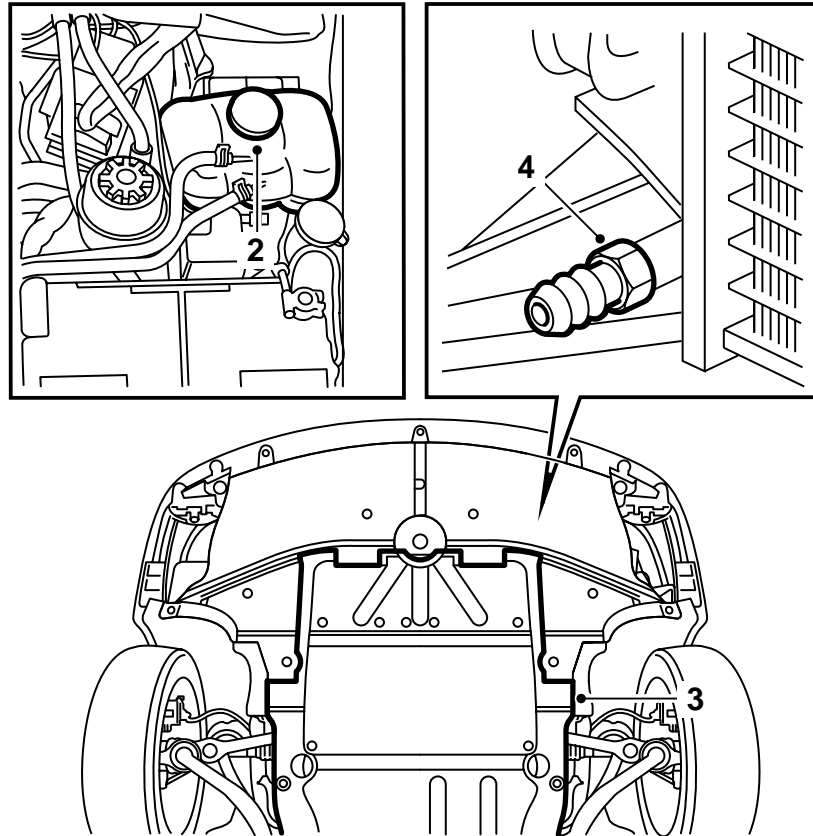
Saab 9-3 D223

エンジンプロックヒーター

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
400 110 375	9:87-12	Jan 00	47 25 065	47 25 065 Nov 99



- 1 接続ケーブル
- 2 インテークケーブル付きインテークソケット
- 3 エキスパンディングスリーブ
- 4 粘着式型紙
- 5 ネジ 4.8x10、1本
- 6 歯付座金、1個
- 7 発熱体
- 8 ロッククリップ
- 9 結束バンド、5本



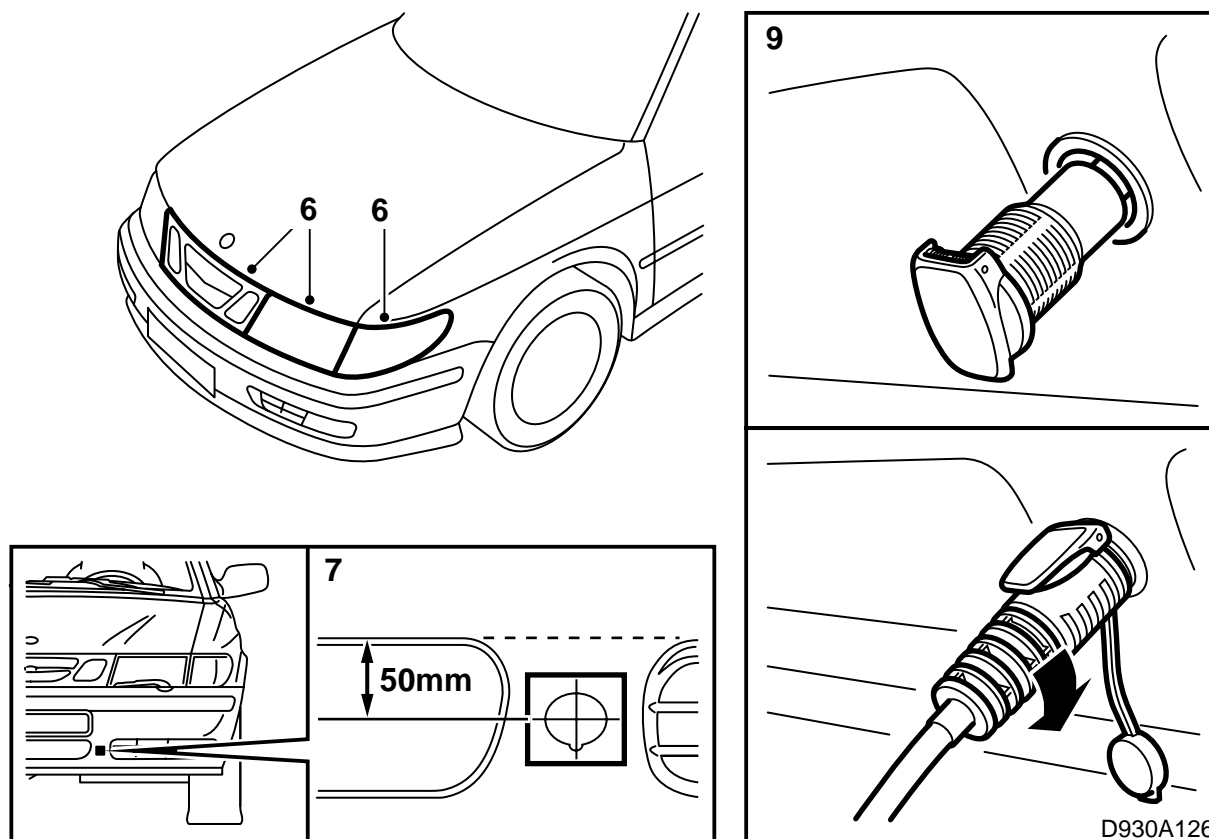
D930A029

- 1 取付説明書全体をよく読み、キット内容物が全てそろっていることを確認する。
- 2 フェンダーカバーをかけ、冷却装置のエキスパンションタンクキャップを取る。

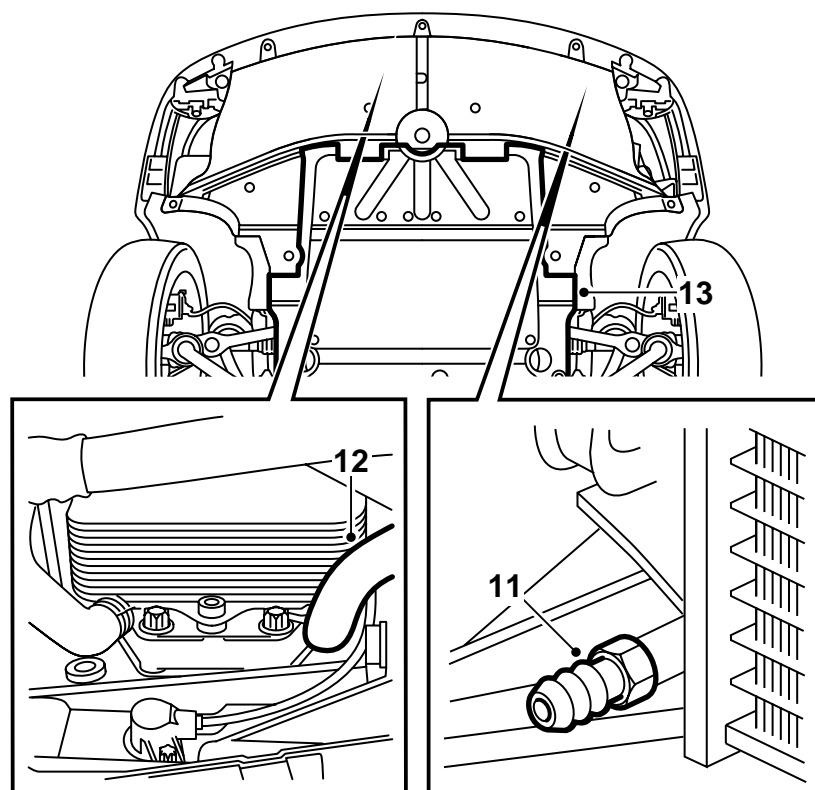
⚠ 警告

車のエンジンが暖まっている時には慎重を期すこと。冷却液が熱くなっている。エキゾーストマニホールドで火傷する危険性もある。

- 3 車をリフトアップする。エンジンのアンダーカバーを取り外す。
- 4 冷却液を受ける容器を用意する。ドレインプラグを開き、ホースを接続し、冷却液を抜き取る。

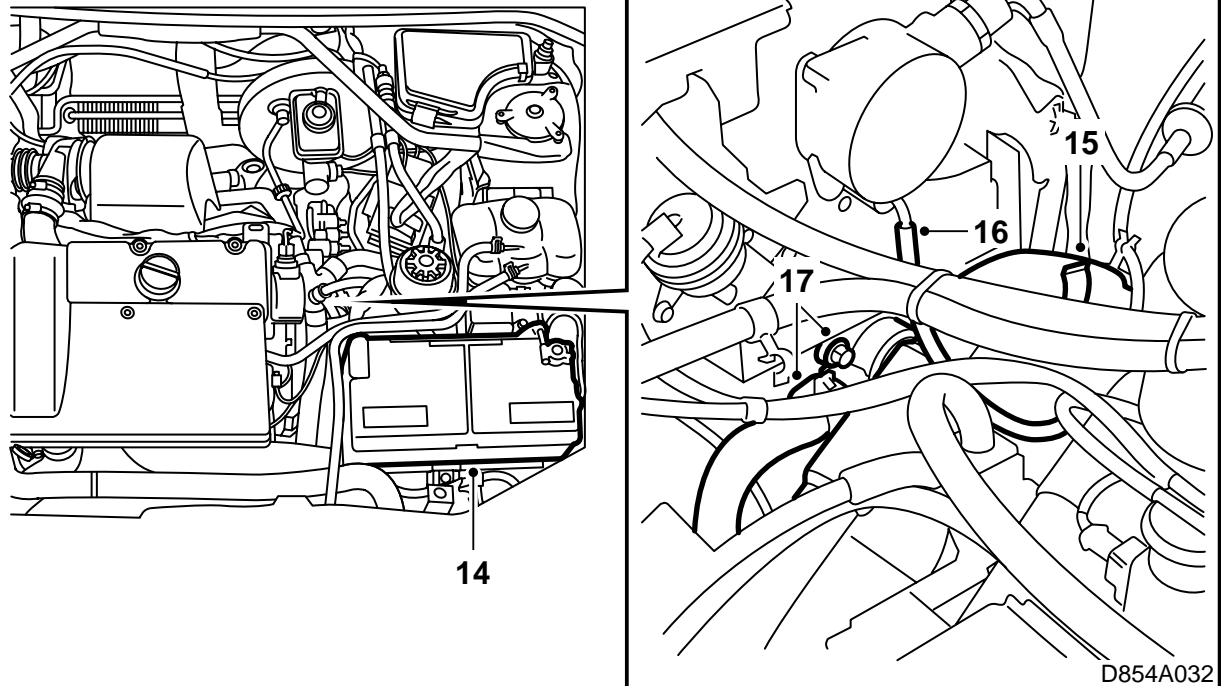


- 5 バンパーアウトケーシングへのインテークソケット取り付けに適した作業高さまで車をリフトダウンする。
- 6 グリル、左コンビネーションランプ、左ヘッドライトを取り外す。
- 7 粘着式型紙を使って、インテークソケット用の切り欠きを施すべき場所に印を付ける。図を参照し、バンパーの各開口部の上に定規またはテープをあてがい、型紙を配置すべき場所を割り出す。
- 8 **30 mm** のホールソーを使って慎重に穴を1箇所あける。穴のエッジのバリ取りを行い、4 mm の丸やすりを使ってロック溝を施す。
- 9 インテークソケットのエキスパンディングスリーブを挿入し、ヒーターのインテークソケットを取り付ける。取り付けの際に温度センサーケーブルにインテークケーブルが引っ掛からないようにするため、ラジエーターの前でインテークケーブルを上へ向けて敷設する。インテークソケットを引っ張ってしっかり固定するために接続ケーブルを使用する。インテークソケットがしっかり納まる所まで時計回りに振じる。

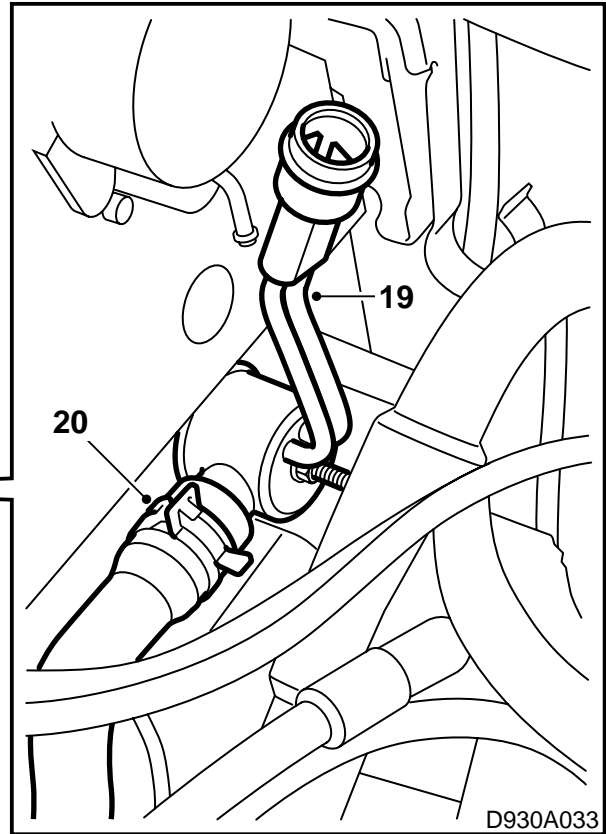
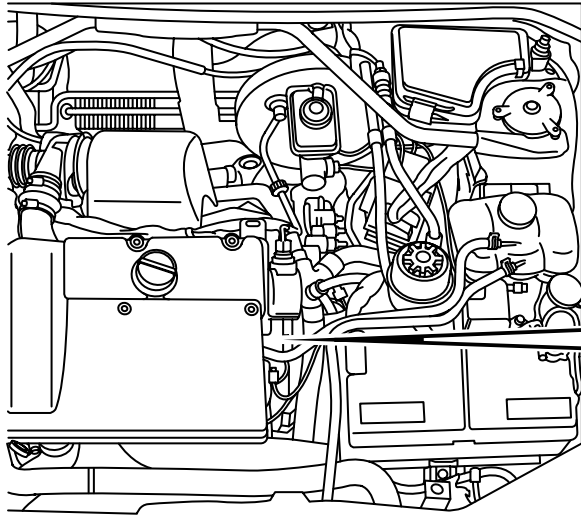


D930A031

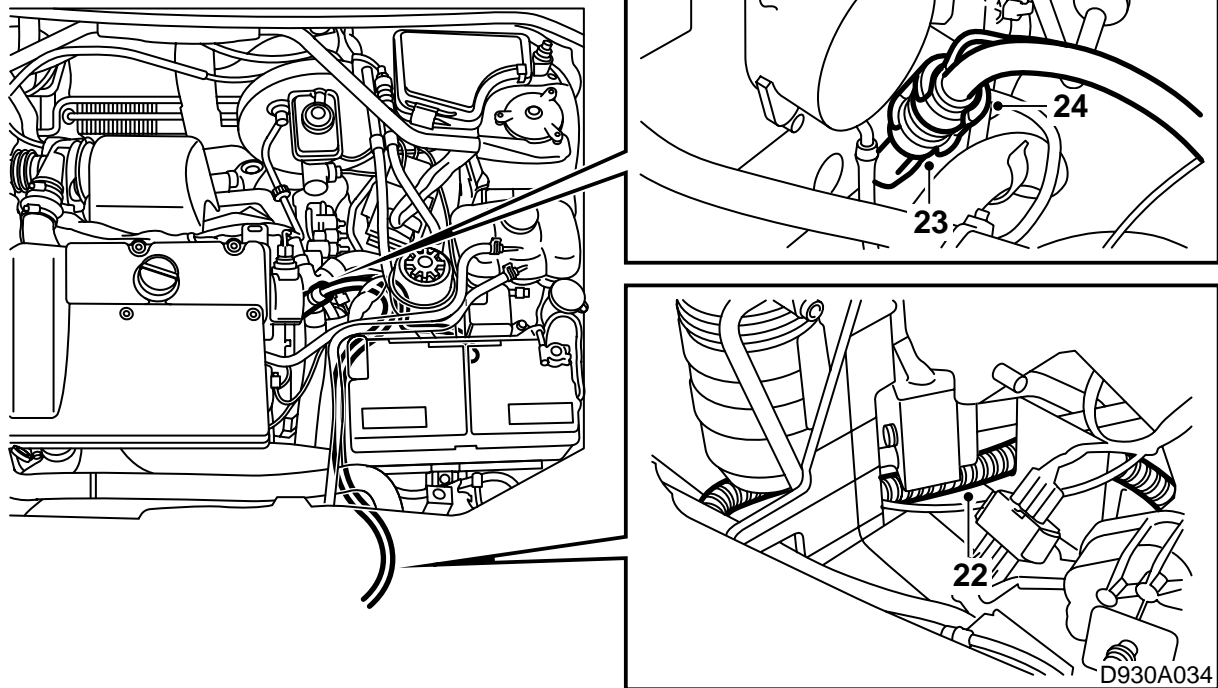
- 10 車をリフトアップする。
- 11 ホースを外し、ドレインプラグを締め付ける。
- 12 適切な箇所に冷却液を受ける容器を配置し、エンジンブロックと熱交換器の間の冷却液ホースを外す。冷却液を抜き取り、ホースを元のように接続する。
- 13 エンジンのアンダーカバーを取り付ける。



- 14 車をリフトダウンする。各バッテリーケーブル、バッテリーのベントホースを外し、バッテリーを除去する。
- 15 エンジンブロックのホルダーから冷却液ホースを外す。
- 16 バキュームポンプから細いバキュームホースを取り除く。
- 17 冷却液ホースを外し、エンジンブロックの冷却液ユニオン継手を取り外す。エンジンブロックのシール面を清掃する。



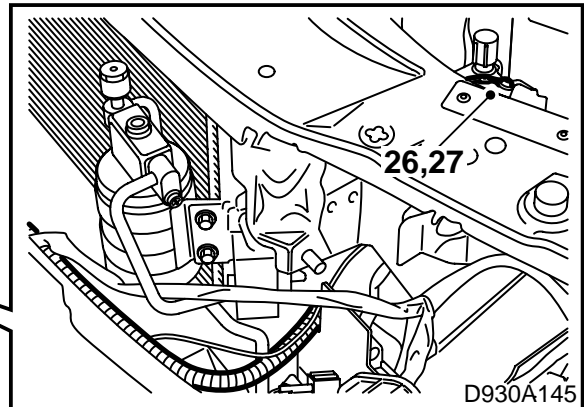
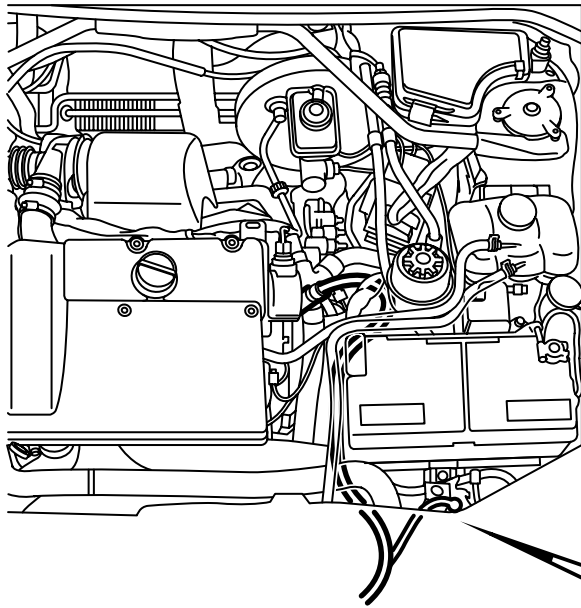
- 18 発熱体の O リングにパーツ番号 30 06 665 の無酸ワセリン、またはそれに相当するものを塗布する。
- 19 発熱体を中心にセットする。継手パイプが元のホース継手と同じ傾きとなるように注意する。ドリーが発熱体の電気ループを挟まないように注意する。発熱体を保持するナットを締め付ける。
- 20 発熱体に冷却液ホースを取り付け、エンジンブロックのホルダーに冷却液ホースを戻す。
- 21 バキュームポンプにバキュームホースを元通りセットする。



- 22 図に従って発熱体までインテークケーブルを敷設する。
- 23 発熱体の O リングにパーツ番号 30 15 286 の無酸ワセリン、またはそれに相当するものを塗布し、発熱体にインテークケーブルを接続する。
- 24 接続部にロッククリップを被せて取り付ける。ロッククリップが正しく取り付けられると、カチッという音が聞こえる。
- 25 結束バンドを使いワイヤーハーネスを固定する。

⚠ 警告

鋭いエッジや熱くなる面にケーブルが接触しないように気をつけること。擦り傷や溶解による損傷は、短絡の原因となる場合がある。



- 26 図を参照し、3.5 mm のドリルを使い、左ヘッドランプ背後のプレートに穴をあける。
- 27 アース接続を完全なものにするために塗装をきれいに掻き落としてから、ネジ 4.8x10 および歯付座金を使い、アース線をしっかりねじ留めする。パーツ番号 30 15 971 の浸透性防錆剤またはそれに相当するものをスプレーする。
- 28 インテークソケットのアース端子、ヒーターのケーシング、車のボディの間のアース中継を点検する。
- 29 バッテリーを取り付け、各バッテリーケーブルおよびバッテリーベントホースを接続する。
- 30 冷却液を充填し、システムに漏れのないことを確認する。
- 31 下記の方法により、冷却装置のエア抜きを行う：

注記

AC/ACC が OFF 位置となっている必要がある。

補助ヒーターにエキゾーストホースを接続する。

エンジンを始動する。

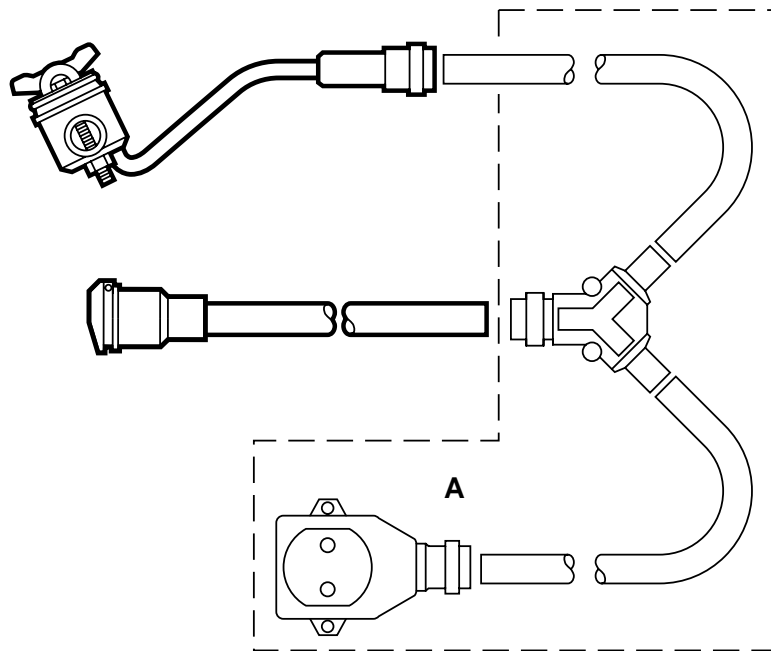
診断ツールを使い補助ヒーターを始動する。(ボディ、SID、数値読取り / 起動、パーキングヒーター)。補助ヒーターは、エンジンが 85 °C に達するか、補助ヒーターメニューを終了すると停止する。

サーモスタットハウジングからエキスパンションタンクへの冷却液の流れに停滞がないことを確認する。

サーモスタットが開くまでエンジンを回転させる。その間に手順 32 を実施する。

エンジンを切り、エキスパンションタンクのキャップを慎重に開き、MAX レベルまで冷却液を補充する。キャップを閉じる。

- 32 ヘッドライト、コンビネーションランプ、グリルを取り付ける。時計の時刻合わせを行い、ラジオコードがあればそれをセットする。
- 33 冷却装置に漏れがなく、ヒーターが機能することを確認する。
- 34 車に取付説明書を納め、顧客には利用の手引きがあることを指摘しておく。



D930A036

A 分岐配線キット

利用の手引き

- 接続ケーブルは、屋外使用が認められた耐油性ゴムケーブルで、断面積が $3 \times 1.5\text{mm}^2$ 以上あるものを使用する必要があります。
- エンジンヒーターは、アースされたコンセントにのみ接続してください。
- ケーブル類は注意して取り扱ってください。ケーブルがボンネットとボディの間に挟まったり、鋭いメタルパーツで損傷する恐れがあるので、こうした点には特に気を付けてください。

⚠ 警告

インタークソケットのアース端子、ヒーターケーシング、および車ボディ間のアース中継を定期的に点検してください。

- 接続ケーブルは、損傷や劣化がないか定期的に点検してください。損傷のあるケーブルは直ちに交換しなければなりません。

注記

下記の場合、ヒーターの機能が低下する恐れがあります：

- 冷却液が汚れている場合
- 冷却液レベルが不十分であるか、システムに空気が混入している場合
- システムにみぞれ状の氷がある場合
- ラジエーターセメントが使用されている場合